学校番号	1004

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改正版　世界史Ａ　第一学習社						
副教材等	詳説　世界史図録　第２版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点をもつ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・近代以前の諸地域世界の特質と相互の交流を概略的に把握させる。
・近現代史を中心に、地球世界としての現代世界における人類の課題を追究させ、具体的かつ多角的に考察させる。
・日本と世界とのつながりに着目させ、国際社会に生きる日本人としての主体的な態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	プリント レポート	定期考査 プリント	定期考査 プリント	定期考査
	［主題学習］ 振り返りシート	［主題学習］ レポート 報告会での発表内容	［主題学習］ ポスター	［主題学習］ 内容のまとまり
	＊「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	世界史へのいざない	・風土がはぐくむ人々のくらし ・妙なる楽の音 日本列島へ	○	○	○	○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考査に必要な諸資料を収集し、有能な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	プリント
	ユーラシアの諸地域世界	・文明のはじまり ・ユーラシア諸文明の特質 ・ユーラシアの交流	○	○ ○	○ ○	○	a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質と、ユーラシアの交流について感心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:ユーラシア諸文明と交流の特質を見いだし、地域世界相互の文化変容などと関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシア各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント
	アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ	・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
二学期	大西洋世界の変容とその波及	・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本の近代化	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: 18 世紀後半以降の諸地域世界の変貌の特質を見出し、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 18 世紀後半以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 18 世紀後半以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント
	二つの世界大戦の時代	・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ 	a: 19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b：20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響とその平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 C：20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 D：20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
三学期	冷戦と民族独立の時代	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊 ・現代の世界	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている b：第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 C：第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 D：第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント
	これからの世界を生きるために	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a: 現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけ歴史的観点に基づいて意欲的に追求しようとしている。 b；現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけ歴史的観点から考察し適切に表現している。 C：現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけ歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d：現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。